

経 済 産 業 省

20180615製局第4号
平成30年6月22日

一般社団法人日本ジュエリー協会 会長 殿

経済産業省製造産業局長



タリバーン関係者等と関連すると疑われる取引の届出等について

上記の件について、警察庁刑事局組織犯罪対策部長から平成30年6月15日付け警察庁丙組組企発第136号、警察庁警備局長から平成30年6月15日付け警察庁丙備企発第154号をもって別添のとおり要請がありましたのでお知らせします。

警察庁によると、当該要請の趣旨は、外務大臣が平成30年6月15日付け外務省告示第213号により、国家公安委員会委員長が平成30年6月15日付け国家公安委員会告示第28号によりタリバーン関係者等のリストの改正

(別表)を行ったところ、犯罪による収益の移転防止に関する法律(平成19年法律第22号。以下、犯罪収益移転防止法)第8条に基づく疑わしい取引の届出義務を徹底されたいというものです。

ISIL及びその関係者が本件タリバーン関係者等に含まれていることにも留意し、引き続きタリバーン関係者等と関連すると疑われる取引について、犯罪収益移転防止法に基づく各種義務の履行の徹底を求めるものです。

なお、最近の厳しい国際テロ情勢に鑑み、タリバーン関係者等との一定の取引について、国際連合安全保障理事会決議第千二百六十七号等を踏まえ我が国が実施する国際テロリストの財産の凍結等に関する特別措置法(平成26年法律第124号)等の規定が遵守されるよう、貴会会員に対し一層の周知徹底をお願いいたします。

○国家公安委員会告示第二十八号

次の公告国際テロリストについて、公告された事項に変更があったので、国際連合安全保障理事会決議第千二百六十七号等を踏まえ我が国が実施する国際テロリストの財産の凍結等に関する特別措置法（平成二十六年法律第百二十四号）第三条第二項の規定に基づき、次のとおり告示する。

平成三十年六月十五日

国家公安委員会委員長 小此木八郎

名簿記載者公告番号Q1-80（ジヤメル・ルニーシー（DJAMEL LOUNICI））

1 変更前

名簿に記載された年月日 2004年1月16日（2008年4月7日、12月2日、2009年1月30日、2011年5月16日及び2018年2月14日に改訂）

その他参考となるべき事項 父親の名前はAbdelkader。母親の名前はJohra Birouh。2008年9月にフランスからアルジェリアに戻り、同国に居住している。安全保障理事会決議第1822号（2008年）に基づき見直しは2010年7月27日に終了した。同人に対するインターポール（国際刑事警察機構）

・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク：<https://www.interpol.int/en/notice/search/un/4525545>

h/un/4525545

2 変更後

名簿に記載された年月日 2004年1月16日（2008年4月7日、12月2日、2009年1月30日、2011

年 5 月 16 日、2018 年 2 月 14 日及び 5 月 29 日に改訂)

その他参考となるべき事項 父親の名前は Abdelkader。母親の名前は Djohra Birouch。2008 年 9 月にフランスからアルジェリアに戻り、同国に居住している。国連安全保障理事会決議第 1822 号 (2008 年) に基づく見直しは 2010 年 7 月 27 日に終了した。同人に対するインターポール (国際刑事警察機構) ・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク : <https://www.interpol.int/en/notice/search/un/4525545>

象と件名・タリバーン関係者等を指定する件の一部を改正する等の措置の対

○外務省告示第二十六号

平成三十一年外務省告示第三十二号及び平成三十年外務省告示第二

百六十七号を含む第九百八十八号、第九百九十号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

百六十七号、第九百八十八号、第九百九十四号、第九百九十八号、第九百九十九号、第一千号、第一千零一号、第一千零二

外務大臣 河野 太郎

る線
。を次
付の平
した表成
たに三
規よ十
定り年
は、改
、正
当該前
規欄及
定全
、体改
を正
改後
正欄
後に
欄掲
に掲
掲そ
げの
る標
の記
の部
よう分
に二
改重
め傍

<p>(別表)</p> <p>1. ～643. [略]</p> <p><u>644.</u> レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線 (別称: (a)ハイアール・アル・シヤム・アル・シヤム (HTS) (ハイアト・タハリール・アル・シヤム; ハイアト・タハリール・アル・シヤム; シリア解放委員会; レバント解放委員会; シヤム解放委員会; レバント解放組織タハリール・アル・シヤム; タハリール・アル・シヤム・ハイアト) (b)ザ・ビクトリー戦線; ジャズハト・アル・ヌスラ; ジャズハト・アル・ヌスラ戦線; アル・ヌスラ戦線; アル・ヌスラ戦線 (c)ジャズハト・フアタハ・アル・シヤム; ジャズハト・フアタハ・アル・シヤム; ジャズハト・フアテハ・アル・シヤム; フアタハ・アル・シヤム戦線; フアテハ・アル・シヤム戦線 (d)レバント征服戦線 (e)アル・シヤム解放戦線 (f)シリア/レバント征服戦線 (g)レバント解放戦線 (h)シリア征服戦線 (i)アンサル・アル・ムジャヒービダイン・ネットワーク-下部部隊名 (j)ジハードの戦場におけるレバントのムジャヒービダイン-下部部隊名</p> <p>AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT (original script: <i>مِيتَة تَصْرِيح الشَّام</i> (a.k.a.: (a)Hay' at Tahrir al-Sham (HTS) (original script: <i>مِيتَة تَصْرِيح الشَّام</i>))</p>	<p>(別表)</p> <p>1. ～643. [同左]</p> <p><u>644.</u> レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線 (別称: (a)ザ・ビクトリー戦線 (b)ジャズハット・アル・ヌスラ (c)ジャズハット・アル・ヌスラ (d)アル・ヌスラ戦線 (e)アル・ヌスラ戦線 (f)ジャズハット・フアタフ・アル・シヤム (g)ジャズハット・フアタフ・アル・シヤム (h)ジャズハット・フアタハ・アル・シヤム (i)ジャズハット・フアテフ・アル・シヤム (j)フアタハ・アル・シヤム戦線 (k)フアテフ・アル・シヤム戦線 (l)レバント征服戦線 (m)アル・シヤム解放戦線 (n)シリア/レバント征服戦線 (o)レバント解放戦線 (p)シリア征服戦線 (q)アンサル・アル・ムジャヒービダイン・ネットワーク-下部部隊英語名)</p> <p>AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT (a.k.a.: (a) the Victory Front (b) Jabhat al-Nusra (c) Jabhat al-Nusra (d) Al-Nusra Front (e) Al-Nusra Front (f) Jabhat Fath al Sham (g) Jabhat Fath al-Sham (h) Jabhat Fatah al-Sham (i) Jabhat Fateh Al-Sham (j) Fateh al-Sham Front (k) Fateh al-Sham Front (l) Conquest of the Levant Front (m) The Front for the Liberation of al Sham (n) Front for the Conquest of Syria/the Levant (o) Front for the</p>
--	--

; Hay' at Tahrir al-Sham; Hay' et Tahrir al-Sham; Hayat Tahrir al-Sham; Assembly for the Liberation of Syria; Assembly for the Liberation of the Levant; Liberation of al-Sham Commission; Liberation of the Levant Organisation Tahrir al-Sham; Tahrir al-Sham Hay' at) (b) جبهة النصرة (the Victory Front; Jabhat al-Nusra; Jabhat al-Nusra; Al-Nusra Front) (c) جبهة فتح الشام (Jabhat Fath al Sham; Jabhat Fath al-Sham; Jabhat Fatah al-Sham; Jabhat Fateh Al-Sham; Fatah al-Sham Front; Fateh al-Sham Front) (d) Conquest of the Levant Front (e) The Front for the Liberation of al Sham (f) Front for the Conquest of Syria/the Levant (g) Front for the Liberation of the Levant (h) Front for the Conquest of Syria
 (i) شبكة انصار الجهاديين (Ansar al-Mujahideen Network - sub-unit name) (j) ساحات الجهاد في مناطق (Levantine Mujahideen on the Battlegrounds of Jihad - sub-unit name))
 旧称：不明
 所在地：(a) シリア・アラブ共和国 (活動地) (b) イラク (支援ネットワークあり)
 国連制裁委員会による指定日：2014年5月14日 (2017年6月7日及び2018年6月5日に改訂)
 その他の情報：アル・カーイダ (166. に指定した団体) と連携している。アル・カーイダの外国人作業員と共に、シ

Liberation of the Levant (p) Front for the Conquest of Syria (q) Ansar al-Mujahideen Network - sub-unit name (r) Levantine Mujahideen on the Battlegrounds of Jihad - sub-unit name)
 旧称：不明
 所在地：(a) シリア・アラブ共和国 (活動地) (b) イラク (支援ネットワークあり)
 国連制裁委員会による指定日：2014年5月14日 (2017年6月7日に改訂)
 その他の情報：アル・カーイダ (166. に指定した団体) と連携している。アル・カーイダの外国人作業員と共に、シリア・アラブ共和国の地元分隊に加わり、テロ活動やゲリラ活動を行うために、シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ (453. に指定した団体) 及びアスバト・アルアンサル (172. に指定した団体) の戦闘員を引き寄せた。イラクのアル・カーイダ (453. に指定した団体) として掲載のイラク・レバントのイスラム国、及びその指導者である、イブラヒム・アットワード・イブラヒム・アリー・アル・バドリー・アル・サワツライ (600. に指定した個人) と連携していたが、2013年に連携を解消した。2016年7月には、レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線 (644. に指定した団体) の指導者である、アブ・モハンメド・アル・ジャウラニ (637. に指定した個人) は、同団体がその名

リア・アラブ共和国の地元の分隊に加わり、テロ活動やゲリラ活動を行うために、シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ（453. に指定した団体）及びアスバト・アルアンサル（172. に指定した団体）の戦闘員を引き寄せた。イラクのアル・カーイダ（453. に指定した団体）としてリストに掲載されている ISIL（いわゆる「イスラム国」）、及びその指導者である、イブラヒーム・アッワード・イブラヒーム・アリー・アル・バドリー・アル・サマッライ（600. に指定した個人）と連携していたが、2013年に連携を解消した。2016年7月には、レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線の指導者である、アブ・モハンマド・アル・ジャウラニ（637. に指定した個人）は、同団体がその名称をジャヤハト・フアタハ・アル・シャームに変更し、もはやいかなる外部団体とも関係していないと表明した。当該表明及び同団体が自らをレバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線から区別しようとしているにもかかわらず、依然としてアル・カーイダと連携しており、この新たな団体名のもとでテロ活動の実行を継続している。2017年1月には、アル・ヌスラ戦線はシリア騒乱におけるその立場を向上し、シリアにおけるアル・カーイダの支部としてその目的を追求するための手段として、ハイアト・タハリール・アル・シャーム (HTS) を創設した。2013年5月30日から2014年5月13日までは、イラクのアル・カーイダ（453. に指定した

称をジャヤハト・フアタハ・アル・シャームに変更し、もはやいかなる外部団体とも関係していないと表明した。当該表明及び同団体が自らをレバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線から区別しようとしているにもかかわらず、依然としてアル・カーイダと連携しており、この新たな団体名のもとでテロ活動の実行を継続している。2013年5月30日から2014年5月13日までは、イラクのアル・カーイダ（453. に指定した団体）の別名として掲載されていた。

<p>団体)の別名として掲載されていた。同団体に対するインターネットポータル(国際刑事警察機構)・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク： https://www.interpol.int/en/notice/search/une/5790822</p>	<p>645.～763. [同左]</p>
<p>備考 表中の「」の記載は注記を要する。</p>	

○国家公安委員会告示第三十号

次の公告国際テロリストについて、公告された事項に変更があったので、国際連合安全保障理事会決議第千二百六十七号等を踏まえ我が国が実施する国際テロリストの財産の凍結等に関する特別措置法（平成二十六年法律第二百二十四号）第三条第二項の規定に基づき、次のとおり告示する。

平成三十年六月二十二日

国家公安委員会委員長 小此木八郎

名簿記載者公告番号QE-61（レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線（AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT））

1 変更前

名称 レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線（AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT）

別名 (a) ザ・ビクトリー戦線（the Victory Front） (b) ジャブハット・アル・ヌスラ（Jabhat al-Nusra） (c) ジャブハット・アル・ヌスラ（Jabhat al-Nusra） (d) アル・ヌスラ戦線（Al-Nusra Front） (e) アル・ヌスラ戦線（Al-Nusra Front） (f) ジャブハット・フアタフ・アル・シヤム（Jabhat Fath al Sham） (g) ジャブハット・フアタフ・アル・シヤム（Jabhat Fath al Sham） (h) ジャブハット・フアタハ・アル・シヤム（Jabhat Fatah al-Sham） (i) ジャブハット・フアタフ・アル・シヤム（Jabhat Fateh Al-Sham） (j) フアタハ・アル・シヤム戦線（Fatah

al-Sham Front) (k) フアテフ・アル・シヤム戦線 (Fateh al-Sham Front) (l) レバント征服戦線 (Conquest of the Levant Front) (m) アル・シヤム解放戦線 (The Front for the Liberation of al Sham) (n) シリア/レバント征服戦線 (Front for the Conquest of Syria/the Levant) (o) レバント解放戦線 (Front for the Liberation of the Levant) (p) シリア征服戦線 (Front for the Conquest of Syria) (q) アンサル・アル・ムジャヒディン・ネットワーク-下部部隊英語名 (Ansar al-Mujahideen Network - sub-unit name) (r) ジハードの戦場におけるレバントのムジャヒディン-下部部隊英語名 (Levantine Mujahideen on the Battlefields of Jihad - sub-unit name)

名簿に記載された年月日 2014年5月14日 (2017年6月7日に改訂)

その他参考となるべき事項 アル・カーイダ (QE-1) と連携している。アル・カーイダの外国人工作員と共に、シリア・アラブ共和国の地元の分隊に加わり、テロ活動やゲリラ活動を行うために、シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ (QE-48) 及びアヌバト・アルアンサル (QE-7) の戦闘員を引き寄せた。イラクのアル・カーイダ (QE-48) として掲載のイラク・レバントのイスラム国、及びその指導者である、イブラヒーム・アツワード・イブラヒーム・アリー・アル・バドリー・アル・サワツライ (QI-173) と連携していたが、2013年に連携を解消した。2016年7月には、レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線 (QE-61) の指導者である、アズ・モハンメド・ア

ル・ジヤウラニ (QI-190) は、同団体がその名称をジヤブハット・フアタフ・アル・シヤムに変更し、もはやいかなる外部団体とも関係していないと表明した。当該表明及び同団体が自らをレバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線から区別しようとしており、依然としてアル・カーイダと連携しており、この新たな団体名のもとでテロ活動の実行を継続している。2013年5月30日から2014年5月13日までは、イラクのアル・カーイダ (QE-48) の別名として掲載されていた。

2 変更後

名称 レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線 (AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT (original script: *الجبهة النصرة لأهل الشام*))

別名 (a) ハイアト・タハリール・アル・シヤム (HTS) (ハイアト・タハリール・アル・シヤム; ハイアト・タハリール・アル・シヤム; ハイアト・タハリール・アル・シヤム; シリア解放委員会; レバント解放委員会; シヤム解放委員会; レバント解放組織タハリール・アル・シヤム; タハリール・アル・シヤム・ハイアト) (Hay' at Tahrir al-Sham (HTS) ((original script: *هيئة تحرير الشام*)) ; Hay' at Tahrir al-Sham; Hay' et Tahrir al-Sham; Hayat Tahrir al-Sham; Assembly for the Liberation of Syria; Assembly for the Liberation of the Levant; Liberation of al-Sham Commission; Liberation of the Levant Organisation Tahrir al-Sham; Tahrir a

l-Sham Hay' at)) (b) ザ・ビクトリー戦線; ジヤブハト・アル・ヌスラ; ジヤブハト・アル・ヌ
 スラ; アル・ヌスラ戦線; アル・ヌスラ戦線 (جبهة النصره) (the Victory Front; Jabhat al-Nusra; J
 abhet al-Nusra; Al-Nusra Front; Al-Nusra Front)) (c) ジヤブハト・フアタハ・アル・シヤ
 ーム; ジヤブハト・フアタハ・アル・シヤーム; ジヤブハト・フアタハ・アル・シヤーム; ジヤブ
 ハト・フアテハ・アル・シヤーム; フアタハ・アル・シヤーム戦線; フアテハ・アル・シヤーム戦
 線 (جبهة فتح الشام) (Jabhat Fath al Sham; Jabhat Fath al-Sham; Jabhat Fatah al-Sham; Jabhat Fate
 h Al-Sham; Fatah al-Sham Front; Fateh al-Sham Front)) (d) レバント征服戦線 (Conquest of
 the Levant Front) (e) アル・シヤーム解放戦線 (The Front for the Liberation of al Sham)
 (f) シリア/レバント征服戦線 (Front for the Conquest of Syria/the Levant) (g) レバント
 解放戦線 (Front for the Liberation of the Levant) (h) シリア征服戦線 (Front for the Con
 quest of Syria) (i) アンサール・アル・ムジヤーヒデーイン・ネットワーク-下部部隊名 (شبكة انصار
 المجاهدين (Ansar al-Mujahideen Network - sub-unit name)) (j) ジハードの戦場におけるレバント
 のムジヤーヒデーイン-下部部隊名 (مجاهدو الشام في ساحات الجهاد) (Levantine Mujahideen on the Battlefield
 s of Jihad - sub-unit name))

名簿に記載された年月日 2014年5月14日 (2017年6月7日及び2018年6月5日に改訂)

その他参考となるべき事項 アル・カーイダ (QE-1) と連携している。アル・カーイダの外国

人工員と共に、シリア・アラブ共和国の地元の分隊に加わり、テロ活動やゲリラ活動を行うため
に、シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ (QE-48) 及びアスバト・アルアンサル (QE-7)
の戦闘員を引き寄せた。イラクのアル・カーイダ (QE-48) としてリストに掲載されている ISIL (い
わゆる「イスラム国」)、及びその指導者である、イブラヒム・アツワード・イブラヒム・アリ
ー・アル・バドリー・アル・サツライ (QI-173) と連携していたが、2013年に連携を解消した。
2016年7月には、レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線の指導者である、アブ・モハンメド・
アル・ジャウラニ (QI-190) は、同団体がその名称をジャズハト・フアタハ・アル・シヤームに
変更し、もはやいかなる外部団体とも関係していないと表明した。当該表明及び同団体が自らをレ
バントの人々のためのアル・ヌスラ戦線から区別しようと試みているにもかかわらず、依然として
アル・カーイダと連携しており、この新たな団体名のもとでテロ活動の実行を継続している。2017
年1月には、アル・ヌスラ戦線はシリア騒乱におけるその立場を向上し、シリアにおけるアル・カ
ーイダの支部としてのその目的を追求するための手段として、ハイアト・タハリール・アル・シヤ
ーム (HTS) を創設した。2013年5月30日から2014年5月13日までは、イラクのアル・カーイダ (Q
E-48) の別名として掲載されていた。同団体に対するインターポール (国際刑事警察機構)・国連
安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク：<https://www.interpol.int/en/notice/search/une/>

象と件名・タリ国際連合安全保障理事會決議に基づく資産凍結等の措置の対

○外務省告示第二十三号

平成十三年外務省告示第三十二号及び平成三十年外務省告示第

八百六十七号を含む第九百八十八号、第九百八十九号及び第二千二百

三十三号に基づき設立された各理事會委員會が平成三十年五月二十九日

に決定等に基づき、同理事會決議第六十七号、第八十八号、第九百八十八号、

第三十三号、第九百八十九号、第九百九十二号、第九百九十三号、第九百九十四号、

第九百九十五号、第九百九十六号、第九百九十七号、第九百九十八号、第九百九十九号、

第十号、第十一号、第十二号、第十三号、第十四号、第十五号、第十六号、第十七号、

第十八号、第十九号、第二十号、第二十一号、第二十二号、第二十三号、第二十四号、

第二十五号、第二十六号、第二十七号、第二十八号、第二十九号、第三十号、第三十一号、

第三十二号、第三十三号、第三十四号、第三十五号、第三十六号、第三十七号、第三十八号、

第三十九号、第四十号、第四十一号、第四十二号、第四十三号、第四十四号、第四十五号、

第四十六号、第四十七号、第四十八号、第四十九号、第五十号、第五十一号、第五十二号、

第五十三号、第五十四号、第五十五号、第五十六号、第五十七号、第五十八号、第五十九号、

第六十号、第六十一号、第六十二号、第六十三号、第六十四号、第六十五号、第六十六号、

第六十七号、第六十八号、第六十九号、第七十号、第七十一号、第七十二号、第七十三号、

外務大臣 河野 太郎

後 正 後	後 正 前
<p>(別表)</p> <p>1. ～413. [略]</p> <p><u>414.</u> ジャマル・ルニーシー (別名：ジャマル・ルニーシー)</p> <p>DJAMEL LOUNICI (original script: جمال لونيبي) (a. k. a. : Jamal Lounici)</p> <p>称号：不明</p> <p>役職：不明</p> <p>生年月日：1962年2月1日</p> <p>出生地：Algiers, Algeria</p> <p>国籍：アルジェリア</p> <p>旅券番号：不明</p> <p>ID番号：不明</p> <p>住所：アルジェリア</p> <p>国連制裁委員会による指定日：2004年1月16日 (2008年4月7日、12月2日、2009年1月30日、2011年5月16日、2018年2月14日及び5月29日に改訂)</p> <p>その他の情報：父親の名前は Abdelkader。母親の名前は Djohra Birouh。2008年9月にフランスからアルジェリアに戻り、同国に居住している。国連安全保障理事会決議第1822号 (2008年) に基づく見直しは2010年7月27日に終了した。同人に対するインターポール (国際刑事</p>	<p>(別表)</p> <p>1. ～413. [同左]</p> <p><u>414.</u> ジャマル・ルニーシー (別名：ジャマル・ルニーシー)</p> <p>DJAMEL LOUNICI (original script: جمال لونيبي) (a. k. a. : Jamal Lounici)</p> <p>称号：不明</p> <p>役職：不明</p> <p>生年月日：1962年2月1日</p> <p>出生地：Algiers, Algeria</p> <p>国籍：アルジェリア</p> <p>旅券番号：不明</p> <p>ID番号：不明</p> <p>住所：アルジェリア</p> <p>国連制裁委員会による指定日：2004年1月16日 (2008年4月7日、12月2日、2009年1月30日、2011年5月16日及び2018年2月14日に改訂)</p> <p>その他の情報：父親の名前は Abdelkader。母親の名前は Johra Birouh。2008年9月にフランスからアルジェリアに戻り、同国に居住している。安全保障理事会決議第1822号 (2008年) に基づく見直しは2010年7月27日に終了した。同人に対するインターポール (国際刑事警察機構) ・国連安全保障理事会特別手配書のウエブ・リンク：</p>

<p>警察機構)・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク: https://www.interpol.int/en/notice/search/un/4525545 415.～763. [略]</p>	<p>https://www.interpol.int/en/notice/search/un/4525545 415.～763. [同左]</p>
<p>備考 表中の「」の記載は注記である。</p>	